



「はじめまして！よろしくお願いします」

校長 中野 瑞枝

初めまして、令和5年度4月1日より、港南区の芹が谷中学校長から小田中学校の校長として異動してまいりました中野瑞枝と申します。

春休みの時に、私が初めて小田中学校に挨拶に伺ったとき、まず、第一印象は中庭に入ったときの公園のように花壇が整備されていることに素敵な学校だなあと感じ、これは、どなたが手入れをされているのかと思いました。4月に入ると、ますます花が開いて、牡丹の花やチューリップ、ハーブの花も開いて、色とりどりに美しく咲いています。職員室アシスタントの方からお話を聞くと、小田中学校の地域の方、保護者 OB や保護者が KCS というボランティアを募り、日々花壇の手入れをされていると聞きました。

学校に美しく咲いている花々は、小田中学校への地域や保護者の愛情と思いがたつぷりと詰まっていることを実感しました。また、花壇だけではなく、学習支援や小学校との連携事業などたくさんの方々のご協力とご支援を受けて小田中学校の教育活動が成り立っていることを知りました。本当にありがたいことです。

これからも小田中学校が、職員、保護者、地域の方とともに、教育活動に取り組み、「信頼・温もり・笑顔」に包まれた学校を目指して、小田中学校の校長として、精進してまいります。どうぞ、宜しくお願いいたします。

令和5年度が、始まりました・・・



今年は、桜の開花が早く、入学式まで頑張っていたグラウンドのわずかな桜の花が強い風の中で舞うなか、午前中に2、3年生の始業式、午後から新入生の入学式がありました。2、3年生の生徒は、進級する期待と不安を胸にしなが、新しい教室で友と一緒に歓喜の声をあげる様子は、新年度の風物詩となっています。思えば、2年前は、発表の翌日から緊急事態宣言で休校になりました。その時代を超えて、今、4月の風物詩を見守ってスタートできることに幸せを感じています。

さて、今年度は、1年生149名を迎えて2年生111名、3年生152名、生徒総数412名でスタートしました。入学式では、新入生の大変穏やかで落ち着いてしっかりと話を聴く姿を見て、ご家庭や小学校からのあたたかなご指導、地域のご支援を受けてすくすくと生徒が成長していることを実感しました。

また、新入生代表の言葉が、立派で大変頼もしく思いました。職員一同、あらためて、心を引き締めてまいります。これまでと同様に、引き続きご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

令和5年度 横浜市立小田中学校 学校教育目標・重点目標

1, 学校教育目標

「信頼 温もり 笑顔」に包まれた学校

- 1 **個性**が発揮できる学校生活(知)
自ら学び、自分らしさを発揮し、生きる喜びを実感できる生徒を育てます。
- 2 **誰もが尊重**される学校生活(徳・体)
自らの心と体を健やかに育み、互いの立場を尊重しあえる生徒を育てます。
- 3 **地域とともに**つくる学校生活(公・開)
地域との交流を積極的に進め、地域の一員としての自覚を育てます。

小田中学校の毎日の生活目標 幸せの算数を小田中学校全員で日々チャレンジ!!

2, 育てたい子ども像

～9年間で育てる子ども像の実現に向けて取組目標～

- * 協同的な問題解決に向けて、主体的・対話的に学びあう子供を育てます。
- * 思いやりの心をもって人とかわかり、自分に自信をもって生きる子どもを育てます。
- * 持続可能な社会の担い手であることを実感し、予測不能な未来に向かって自己の力を発揮する子供を育てます。

【令和5年度の重点目標】

未来に向かう たくましく、しなやかな心の育成
～希望に向かう粘り強く諦めない心・柔軟な心・認め合う心～

○「たくましく、しなやかな心」とは？

自分や他人の多様な生き方や考え方、存在を認め合う柔軟な心

自分の存在を大切に、他人も認めていく心(自他を愛する心)

困難や挫折に直面しても、粘り強く最後まであきらめない心

生涯にわたり健康に過ごせるからだ心

他者との比較や自らの思いを抱きつつ自分自身を受け入れる心

集団の中で他者を受け入れ自分自身を認めながらも自分を高めていこうとする心

失敗を恐れず、心折れても立ち直り、自分に適度な自信を抱き可能性を信じてチャレンジし、以前の自分よりも成長しようと前を向いて生きる姿

3, 学校経営姿勢

- 「チーム小田」として組織的な学校運営を行い「誰もが、安心して、豊かに」生活できる学校づくりを目指します。
- 社会に開かれた教育課程を実践し、9年間で連携して小田中ブロック生徒の育成する資質能力を明確にして地域・小中連携・保護者と連携した教育活動を展開します。
- 生徒・保護者・地域が参画する学校評価を実施し、根拠に基づいた学校の改善を重ねます。(公・開)
- 併設小学校との連携した SDGs を意識した教育活動と9年間で育てる子ども像を成長の段階に合わせて系統を立てた「持続可能な社会に貢献する力の育成」を目指す教育の充実を図り、生徒が将来の生き方を考え、自己実現できる力の育成に努めます。
- 生命を大切にすることを第一に考えた安心、安全な学校づくりを目指します。(徳・体)
- 育成する資質能力の育成を目指して全教育課程を通して教科横断的に取り組み、協働活動を取り入れた授業を実施します。また、自分の考えをもち他者の考えも受け入れて自己の考えを深めていくことができる授業の展開を図ります。(知)
- 生徒の主體的な活動を支援し、自己肯定感・自尊感情を高めます。

4, 学校経営方針

令和5年度学校重点目標 「未来に向かうたくましくしなやかな心の育成」

- 学校運営組織の各部門での重点目標を実現するために具体的な取組を明確にして計画を立て、実施すること。また、各部門の内部反省(前後期)を行って確実な取り組みがなされるように図ります。
- 総合や特別活動の時間を中心として教科横断的な教育課程を通して仲間と相互に関わって問題発見・課題解決・新たな気づきをする中で「自分づくりに関する力」(自己肯定感・自尊感情の育成)、「生命の尊重」(健康な生活を実践する力・地域づくりに参画する力)の育成に努めます。
- 知識技能の向上を図るために細かに確認する単元テストや復習、自習する「0時間」を活用した授業方法の工夫改善と学習のまとめりや単元ごとに観点別の評価を生徒に返すことで生徒が先の見通しをもって学習できる指導を展開します。
- 誰もが安心して過ごせる学校にするために小中学校で作成したスローガンをもとにして、体験を通して感じた思いや願いを共有し自尊感情を育みます。また、3年間の系統を立てた人権教育・道徳教育(平和学習、人権学習、国際理解)を諸機関と充実させ、持続可能な社会の担い手として、生徒が将来の生き方を考え、自己実現できる力の育成に努めます。
- 教科学習・特別活動・総合などの教育課程を通して SDGs の視点を多面的・総合的に取り入れ、生徒が、持続可能な社会の創造に貢献できるように、地域や諸機関との連携を図って探究活動を進めていきます。